

静岡新聞

平成 25 年 12 月 4 日(水)掲載



国際会議の一環で
ピアノリサイタル

中区

国内外で活躍するピアニスト山岸ルツ子さんのリサイタル「先端科学技術とクラシックピアノ音楽との出会い」(静岡新聞社・静岡放送後援)が2日夜、浜松市中区のアクトシティ浜松で開かれた。静岡大の中本正幸教授

の研究室が主催するナノテクノロジーに関する国際会議の一環で、約400人の来場者が山岸さんの演奏に耳を傾けた。

山岸さんはショパンの「英雄ポロネーズ」やラフマニノフの「愛の悲しみ」など11曲を披露し、甘美な響きで会議関係者や一般来場者を楽しませた。

会議期間中の演奏会は中本教授が熱望していたもので、河合楽器の協力で今年初めて実現した。

甘美なピアノ演奏を披露した山岸さん
浜松市中区のアクトシティ
浜松

この記事・写真等は、静岡新聞社の許諾を得て転載しています